

2022年12月13日

気候変動に関するCDP調査において 最高評価となる「Aリスト」企業に選定

第一生命ホールディングス株式会社(社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、国際環境 NGO である CDP から、気候変動に関する先進的な取組みと情報開示の透明性が認められ、2022年の「Aリスト」企業に選定されました。



1. 気候変動に関する CDP 調査「Aリスト」企業への選定について

CDP は毎年、気候変動に関する取組みと情報開示について企業を評価し、特に取組みが進んでいる企業を「Aリスト」企業として公表しています。2022年度は、世界中の18,700社以上が CDP に情報を開示し、当社は「Aリスト」企業の1社として選定されました。

2. 第一生命グループの気候変動への取組みについて

当社グループは、私たちの目指す姿である「Protect and improve the well-being of all(すべての人々の幸せを守り、高める)」の実現に向けて、社会の持続性確保に関する重要課題である気候変動への対応に積極的に取り組んでいます。2021年には、温室効果ガス排出量の新たな中長期削減目標を設定したと共に、中核会社である第一生命保険株式会社が、世界の金融機関の脱炭素取組みを推進するGFANZ[※]において、活動をリードするプリンシパルズ・グループのメンバーにアジアで初めて選出されました。

今後も、事業活動に伴う温室効果ガスの削減を推進していくとともに、投融資先企業とのエンゲージメントや気候変動問題の解決に資する投融資等を通じて、脱炭素社会の実現に貢献していきます。

※Glasgow Financial Alliance for Net Zero: 世界経済の温室効果ガス排出量ネットゼロ移行を目指す金融機関によるグローバルな連合(2022年11月時点で参加機関数は550超)

■ CDP について

CDP は、環境問題に高い関心を持つ680以上の機関投資家などの要請を踏まえ、企業に対して、温室効果ガスの排出削減、水資源・森林の保護などの環境問題への取組み促進と情報開示を求める活動を行う国際環境 NGO です。

※詳細は同団体のホームページをご覧ください。 <https://japan.cdp.net/>

■ 第一生命ホールディングス統合報告書 2022 ※気候変動への取組みは、P.61~70をご覧ください。

https://www.dai-ichi-life-hd.com/investor/library/annual_report/2022/pdf/index_001.pdf